

魔法の呪文

朝明中学校3年
学年通信
2015, 4, 24
No. 7 (福村)

「奇跡」は本当に起こるから言葉として残っている！

～「奇跡」は諦めずに努力し続ける者にのみ訪れる！この奇跡は誰にも訪れる！～

先週の18日土曜日、中日本中学生ソフトボール三泗地区予選大会、いわゆる春の大会がありました。何とそこで、信じられない出来事が次々と起こったのです。その時の様子を書いてみます。今後の自分の生き方に参考にしていただければ……。

奇跡は本当に起こるから言葉として残っている。

本の名前も忘れましたが、たしか『心を打つ言葉』を集めた本に載っていた言葉だったと記憶しています。結論を言うと、なんと、優勝したのです！いや、させていだいたのです（と僕は思っています）。そう、奇跡が起きたのです！

しかも、決勝の相手は春の大会6連覇中のU中学校を7点差の4回コールドでの圧勝！自分自身信じられませんでした。U中は、僕が朝明に赴任して以来、公式戦で5年間1度も勝ったことのない最強の相手です。

先々週の11日（土）の練習試合では、13対0での大敗を喫した相手でもあります。朝明としては「いい試合をしよう！」のつもりでした。きっとU中にしたら「よし、楽勝！」と思ったことでしょう。他のどの顧問も朝明の優勝を予想した人は皆無（かいむ=誰一人いない）でしょう。

ちよっとここで「ゾーンに入る」という状況をご説明します。スポーツ界ではよく使われる表現ですが、実際に起こることはめったにない現象です。

どう言うわけか理由は分からないが、プレッシャーのかかる場面なのにもかかわらず、感覚が研ぎ澄まされ、超集中状態に入り、やることなすことすべて自分（たち）の都合の良い方向に進むこと

を言います。

今回、何と言ってもポイントとなるのは初戦のO中学校戦でしょう。まさに死闘。7分過ぎたら次の回へは進まない、というルール。3回裏、O中の攻撃。2点のビハインド（負けている状態）。なかなか終わらない。残された時間は30秒。もう負けを覚悟しました。ここで**最初の奇跡**が起きました。あれだけ長かったこの回が30秒を前にして



パッと終わったのです！つまり、次の4回表の攻撃の権利が与えられたのです！！

この時、選手たちにこう言いました。「この回に進めたということは、神様がお前たちに『逆転しろ！』と言いたかったに違いない。その通りやってみろ！」これが魔法の呪文になったとは思わないけれど、ここで**2回目の奇跡**が起こったのです。2点差をひっくり返し、3点を取ったのです！監督の自分自身が驚く怒涛（どとう）の攻撃でした。

次の2回戦も、ソフトボール界の2強に必ず入るK中。なんと、このK中に対し信じられない4回7点差コールド勝ち。これが**奇跡の3回目**。

そして、決勝は前述のU中。実は、U中の監督からは冬の合同練習で、「厳しいこと言うけど、今の朝明中ではU中に勝つことはできない！」と言われたくらい実力差があったのです。その悔しさを忘れてなるものぞ、と臥薪嘗胆（がしんしょうたん=負けた悔しさを忘れず努力すること）をスローガンにして努力してきました（そのつもりです）。試合前に、「決勝に来たな。いよいよ朝明の歴史を変える時ぞ！」と檄（げき）を飛ばしました。

弱いチームだから、U中にはバントなど細かい攻撃を考えていました。でも、「今のこいつら、何かを引き起こすぞ！」というひらめきが頭に浮かびました。細かいことなんてくそくらえ。自分の力を信じて「打て！」のサインばかり。信じられないことが起こりました。選手全員が、練習通りの自分の力をいかに発揮したのです！なんと全員安打で、常に強豪U中を相手に先取点を取る展開。あのU中に焦りが出て、エラーの連続。あのU中がです！いつもならこちらがそういう目に合っているのに。これが**4回目の奇跡**。

まあ、簡単に言うと「神がかり」的な現象が起こったということです。約30年間ソフトボールの監督をしてきて、これまでに3回ほどありました。「流れ」がいいのです。「ああ、これは優勝するな」と自分でも思えるのです。驕（おご）っているわけでもないのです。

ソフトボールの神様が降りてきて、「お前たち、よく頑張っているからここは勝たせてやろう！」とにっこり微笑む。そんな感じなのです。ああこれがゾーンかと思えました。欲を出し過ぎると、その神様はすっといなくなり、変な流れが訪れ、勝ち逃げは逃げていくのです。世の中の勝負師たちなら誰でも手に入れたいと思う「**ゾーン**」は、**結局、一生懸命やった者にしか手にすることができない神様からの御褒美（ごほうび）**だったのです。人間の力では遠く及びもしない境地なのです。「勝たせていただいた」の一言です。選手たちに言いました。

「僕の最後の1年に、とうとう朝明の悲願である『優勝』をプレゼントしてもらったよ。ありがとう！」と。彼女たちは言いました。

「先生、まだ夏もあります！」彼女たちは夏も優勝を狙うつもりなのです！頼もしい！

「試合ごとに強くなる」と言いますが、まさしくその通り。彼女たちは、「優勝」だけでなく「自信」もどうやら手に入れたようです。

今度は追われる立場になった朝明中。そのプレッシャーをはねのけ、連覇することです。真の王者になれるはずです。まだまだ、そんな力などありませんが、唯一、その資格を与えられたわけですから、チャレンジしたいと思います。

みなさんは、この話から何を感じましたか？そして、どう自分に取り入れていきますか？